

ミドリシジミ

Neozephyrus japonicus japonicus

兵庫県：要注目

環境省：－

種の概要

前翅長16～23mm程度。翅の表面は♂では金属光沢をもった金緑色、♀では黒褐色で、前翅に黄白色や青色、橙色の斑紋を有する。裏面は茶褐色で、後翅には尾状突起があり、W字形の白色条を備える。平地から山地のハンノキ林に生息し、幼虫はハンノキ、ヤマハンノキなどを食べる。年1化性で、成虫は6月～8月に出現する。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加東市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、たつの市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、香美町、丹波篠山市、洲本市、南あわじ市、淡路市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○			

特記事項

ハンノキが分布する集落周辺の湿地、水田、池などが生息地であるが、開発や改修工事などで生息地が消滅するなど、生息環境が悪化している。

保護上の留意点